

概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	公益社団法人ストップ・ガン・キャラバン隊
事業名	Stop 少年非行～未来に種まきリレーシンポジウム
<p>5カ年目標で10都市をキャラバンする、<ストップ非行～未来に種まきリレーシンポジウム>は今年度で7都市目の高知、8都市目の岡山で『テーマ』とする社会悪の三要素「銃器・薬物・暴力団」から少年たちを守る1. 青少年非行防止 2. 青少年の暴力団への加入阻止 3. 青少年の薬物・銃器への憧れを阻止 4. 青少年の健全育成支援活動者との連携強化～「非行少年を生まない社会作り」シンポジウムを実施しました。高知大会では、基調講演「力の結集・本気の取組」と称し、京都産業大学教授 社会安全・警察学研究所長（元警察大学校長）の田村 正博氏が、機関連携の重要さと今後の課題とご提言されました。またパネルディスカッションでは、キースピーカーの現職校長の斉藤美由紀氏が規範意識の育成こそ教育現場使命であることを題材に、実際に非行少年と向かい合い徹底的に逃げない支援のあり方など、実践者同士の血の通った深いやり取りが印象的でした。</p> <p>岡山大会では、基調講演は社会現場から「立ち直り支援（雇用による）」と称し、野口石油社長の野口義弘氏、学校現場から中学校校長の平田俊治氏の「学校の荒れや非行からの立ち直り」が異なる現場から、それぞれの実践論を熱く語っていただきました。</p> <p>両大会に共通な点は、開催地の両方の県共に少年非行率ワーストからの脱却に普請している点である。したがって、「未来への種まきリレーシンポジウム」の開催趣旨は各地で育まれていくことが期待できた。今回も前年度同様にシンポジウムの成果はDVDの映像にまとめ、青少年非行防止活動を行っている少年補導員や教育関係者へ配布を行い、当該問題を全国的共通議題として研磨を深める契機としていく。</p>	
	
<p>(高知：講演者全員による開演前のランチミーティングで問題意識の共有 2014・06・07)</p>	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。